

平成17年度 東駿河湾都市圏総合都市交通体系調査

東駿河湾都市圏の交通計画づくりのためのワークショップ

【 協議会報告内容 】

東駿河湾都市圏総合都市交通計画協議会

静岡県・沼津市・三島市・御殿場市・裾野市・伊豆市
・伊豆の国市・函南町・清水町・長泉町・小山町

I. 沼津市ワークショップによる提案施策について

①ワークショップの開催状況

■ワークショップのテーマ

中心市街地を元気にする交通や道路の使い方について
～中心市街地と沼津港の連携～

■ワークショップ全体の流れ

第1回 沼津市ワークショップ

開催日時：10月26日(水)19:00～21:30
開催場所：沼津市民文化センター
開催内容：沼津市の中心市街地の交通問題を考える

第2回 沼津市ワークショップ

開催日時：11月3日(祝木)13:00～16:00
開催場所：沼津市第一地区センター
開催内容：課題を現場から学ぶ
～まちウォッチング～

第3回 沼津市ワークショップ

開催日時：11月16日(水)18:30～21:00
開催場所：沼津市第一地区センター
開催内容：交通まちづくり提案を考える

第4回 沼津市ワークショップ

開催日時：12月7日(水)19:00～21:30
開催場所：沼津市民文化センター
開催内容：交通まちづくり提案のプレゼンテーション



■参加状況

		参加人数	参加者数			
			第1回	第2回	第3回	第4回
一般公募		2	2	0	2	1
団体組織	まちづくりリーダー	4	4	3	4	4
	沼津商工会議所、関連組織	2	1	2	1	0
	沼津地域産業振興協議会	1	1	1	1	1
	沼津青年会議所、関連組織	2	1	2	2	0
	沼津観光協会	1	1	0	1	1
	商店街関連	4	4	2	2	3
	沼津まちづくり市民の会海風47	1	1	1	1	1
	フィルム微助人	1	0	1	1	0
	沼津フォーラム女性の会	1	1	1	1	1
	沼津市社会福祉協議会	1	1	1	1	1
	バス事業者(3社)	3	2	3	2	2
	合 計	23	19	17	19	15

②ワークショップの検討結果

■グループ1：中心市街地のバス交通とその利用促進

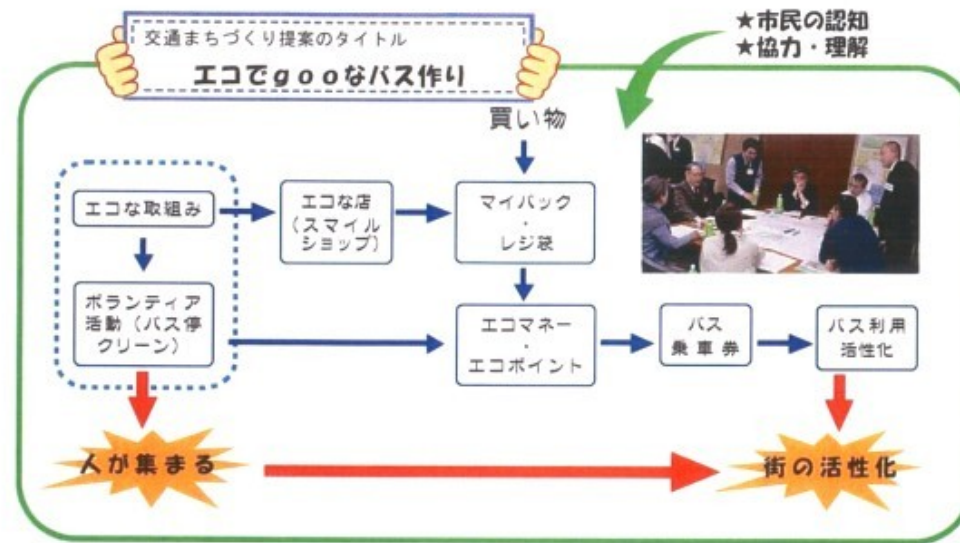
〔中心市街地のバス交通の問題・課題（主な意見）〕

- ・ビーバスの北側ルートの利用者が少ない。
- ・ビーバスのルートの細分化が必要。
- ・ビーバス乗降者のターゲットが不明瞭。
- ・観光地（香貫山・沼津港・千本浜等）を結ぶバスルートが必要。
- ・公共施設（千本プラザ等）での停車が必要。
- ・エコマネーが利用出来るバスが必要。



〔グループ提案内容〕





〔提案内容を実施した場合の事業主体と検討の優先度（案）〕

提 案 施 策	事 業 主 体（●：主、○：従）				検討の優先度 ◎：大 ○：中 △：小	備 考
	静岡県	沼津市	バス事業者	市民NPO等		
ビーバスルートの変更		○	●		◎	社会実験等の取り組みが考えられる
バス待ち合わせスポットの改善		●	●		◎	ビーバスルートの変更に併せて改善
エコマネー・ポイントの構築（乗車券として利用）	○	○	○	●	△	NPO が主体となった取り組み
バス停の清掃				●	◎	市民ボランティアによる活動

注）事業主体の主・従とは、提案施策を実施する際の主体を示す。

■グループ2：中心市街地と沼津港を結ぶ交通のあり方

〔沼津港の問題・課題（主な意見）〕

- ・人は多いが、活気がない。
- ・清潔感のある、きれいなデザインのトイレが必要。
- ・分かりやすい観光案内が必要。
- ・港大通りにバス停が4カ所あり分かりにくい。

〔中心市街地の問題・課題（主な意見）〕

- ・シャッターを閉めている店が多く、商店街に活気がない。
- ・中心市街地を歩かせる事が必要。

〔中心市街地と沼津港を結ぶ交通の問題・課題（主な意見）〕

- ・沼津駅（中心市街地）と沼津港を結ぶ直通バスが必要。
- ・ピーバスのルート及びバス停位置の変更が必要。
- ・ピーバス利用者への割引券（買い物券）の発行が必要。

〔グループ提案内容〕





アイデア

◆「沼津港の歩き方」パンフのバージョンアップ案



開くと…
→

- ・バス停の位置と時刻表
- ・折り込みの100円商品券



〔提案内容を実施した場合の事業主体と検討の優先度（案）〕

提案施策	事業主体（●：主、○：従）				検討の優先度 ◎：大 ○：中 △：小	備考
	静岡県	沼津市	バス事業者	市民NPO商店街等		
ビーバスルートの変更 （直通化・食堂街へのルート変更等）		○	●		◎	社会実験等への取り組みが考えられる
観光パンフ「沼津港の歩き方」のバージョンアップ		○		●	◎	市民ボランティアやNPOが主体となった取り組み
みなと商店街に音楽を流す				●	◎	商店街による取り組み
みなと商店街の共同トイレをきれいにする				●	◎	市民ボランティアや商店街による活動
みなと商店街のイルミネーション化	●	●		○	○	県・市が主体となった取り組み
沼津港のライトアップ	●				○	県による取り組み
チャレンジショップ（伊豆みやげ）の設置		○		●	△	NPOが主体となった取り組み

注）事業主体の主・従とは、提案施策を実施する際の主体を示す。

〔沼津駅・沼津港の問題・課題（主な意見）〕

- 〔沼津駅と沼津港を結ぶ交通の問題・課題（主な意見）〕

- 〔グループ提案内容〕



〔提案内容を実施した場合の事業主体と検討の優先度（案）〕

提 案 施 策	事 業 主 体（●：主、○：従）				検討の優先度 ◎：大 ○：中 △：小	備 考
	静岡県	沼津市	バス事業者	市民 NPO 商店街等		
沼津駅と港を結ぶ直行ミニバスの運行		○	●		◎	バス事業者が主体となった取り組み
観光ミニバス（ザ・沼津ハイライト便）の運行		○	●		○	バス事業者が主体となった取り組み
沼津港におけるバスターミナルの整備	●	●	○		△	県・市による取り組み
沼津駅南口及び沼津港における観光休憩所の設置	●	●		○	○	県・市による取り組み
観光マップの作成		○		●	◎	市民ボランティアや NPO が主体となった取り組み
観光ボランティアによる案内				●	○	市民ボランティアや NPO が主体となった取り組み
無料レンタサイクルの設置		●		○	◎	市が中心となった取り組み
特色あるバス車両への改善			●		△	バス事業者による取り組み
周遊バスチケットの販売			●		○	観光ミニバスの運行に併せた取り組み

注）事業主体の主・従とは、提案施策を実施する際の主体を示す。

■グループ3：中心市街地の自転車交通のあり方

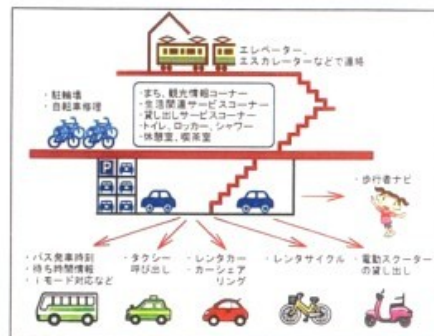
〔自転車交通の問題・課題（主な意見）〕

- ・自転車でどこを走っていいのかわかりづらい。自転車道の明示やネットワーク化が必要。
- ・沼津港→千本浜公園→乗運寺までの自転車道の明示が必要。
- ・ビューポイントとして橋に張り出しの休憩所が欲しい。
- ・商店街の違法駐輪に対しては停めてよいスペースを歩道の中に限定することが必要。
- ・駅を中心に有料駐輪場を各力所に設置することが必要。
- ・観光客をはじめ来訪者が自転車を利用できるシステムが必要。

〔グループ提案内容〕



①モビリティセンターのイメージ



②通勤通学者用の大規模な屋根のある駐輪場

- ・公共施設用地の地上、地下を
利用した駐輪場の整備
- ・JR沼津駅南口の改札を、添地
駐輪場の側に作る。



③買物用のおしゃれな駐輪場

- ・おしゃれな駐輪施設スペース



ドイツ・サイクルアンブレラ



オランダ



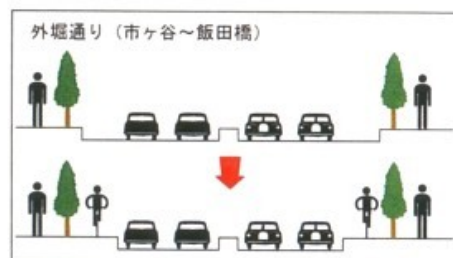
浜松

④自転車通行帯の確保

- ・歩行者、自転車、自動車レーンを区別
- ・狩野川河口右岸堤防、中部浄化プラント西側の干本浜海岸堤防を自転車通行できるように整備。
- ・文学の道を一方通行にするか、2 m分、歩行者自転車道として使うような実験はできないか。
- ・文学の道を周遊コースに入れる。
- ・市内外の人達を呼べるイベントを開催
- ・狩野川コリドーイベントとの連携

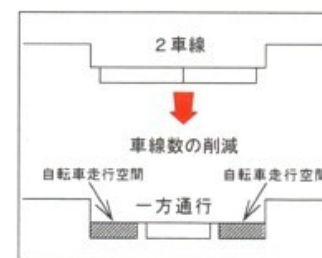


◆道路空間の事例から



改善前

改善後



改善前

改善後



〔提案内容を実施した場合の事業主体と検討の優先度（案）〕

提 案 施 策	事 業 主 体（●：主、○：従）				検討の優先度 ◎：大 ○：中 △：小	備 考
	静岡県	沼津市	民 間 事業者	市 民 NPO 商店街 等		
モビリティセンターの整備	●	●	●		○	行政や民間事業者等による取り組み
通勤・通学者用の大規模な駐輪場の整備	●	●	●		△	行政や民間事業者等による取り組み
買い物用のおしゃれな自転車置き場の整備	●	●		○	○	県・市による取り組み
文学の道における自転車通行帯の確保		●			△	市による取り組み
観光用の自転車ネットワークの構築（自転車道の明示、案内板の設置 等）	●	●			△	県・市による取り組み
自転車を利用したイベントの開催		○		●	◎	市民ボランティアや NPO が主体となった取り組み
レンタサイクルの設置		●		○	◎	市が中心となった取り組み
港大橋における休憩所の設置		●			△	市による取り組み
商店街ファンクラブの設置（自転車置き場の設置や管理）				●	○	市民ボランティアや NPO が主体となった取り組み

注）事業主体の主・従とは、提案施策を実施する際の主体を示す。

③本調査における今後の検討課題（沼津市ワークショップの提案内容より）

沼津市ワークショップによる提案施策（交通に関連した施策）の実現化に向けては、今後、将来の道路・交通網に併せた以下のような検討を実施し、本調査（東駿河湾都市圏総合都市交通体系調査）における将来交通計画への反映及び社会実験への展開を考えていく。

■公共交通関連施策

- ・ 中心市街地におけるバスルートの検討
- ・ 観光用バスの運行に向けた検討
- ・ 交通結節点（バスターミナル）整備に向けた検討
- ・ バスの利便性向上に向けた施策の検討
（運行情報の提供、バス停の改善等に向けた検討）

■歩行者・自転車関連施策

- ・ 自転車ネットワークの検討
- ・ 自転車の利用促進に向けた検討
（駐輪場の設置、レンタサイクルの導入等に向けた検討）

■その他

- ・ 社会実験の実施に向けた検討
（提案施策の中から今後社会実験に展開出来そうな施策を抽出する）

以上

平成17年10月～12月